測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

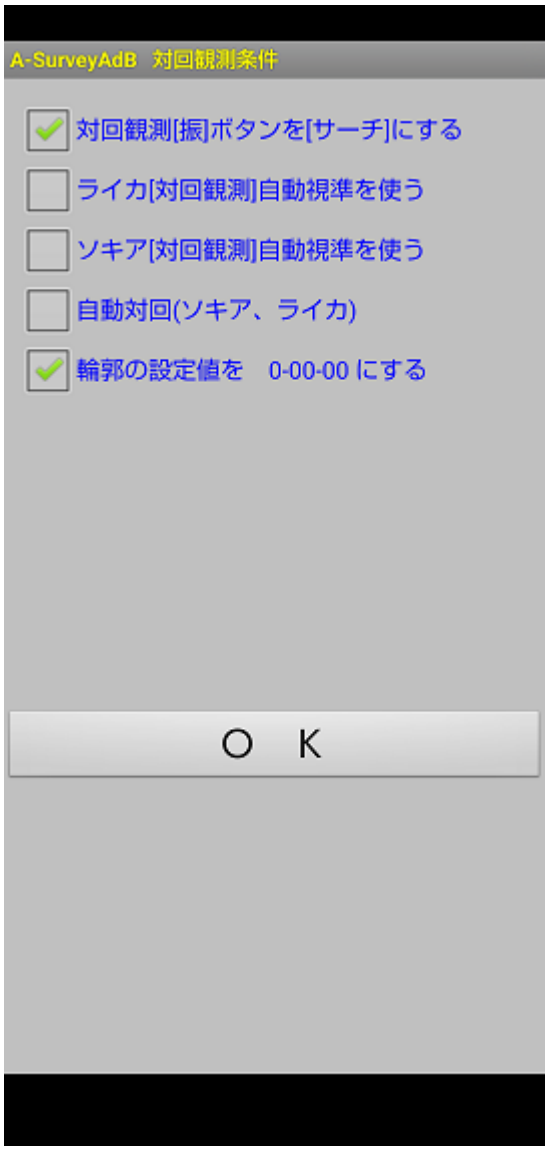
2023/09

Ver4.4.3 で追加、修正された機能を説明します。

・対回観測の、輪郭を 0-00-00 も可に
・対回観測、気象補正値の取得

１、 対回観測の、輪郭を 0-00-00 も可に

要望がありましたので、追加しました。
輪郭を TS に設定しますが、常に　0-01-00 からに固定でした。
２対回なら
0-01-00
270-01-00
としていました。
今回、「対回観測条件」に追加し、0-00-00　も可能としました。
２対回なら
0-00-00
270-00-00



＜――　追加しました。

２、対回観測、気象補正値の取得

気象補正値は、マルチボタンの「器械点情報」や、メニューの「器械点情報」で TS から取得できました。
「対回観測」の場合は、観測画面に入らないとメニューの「器械点情報」が選択出来ないので、今回、対回観測の設定画面から可能としました。

① BlueTooth に未接続の場合は、この画面の表示時に、接続します。
“接続しました”と音声案内が出ます。
接続済の場合は、案内はありません。

② 「情報取得」のボタンを押すと
TS から、気温、気圧、PPm、プリズム定数の値を取得し、表示します。
“測定 OK”と音声案内します。
この案内があると、取得が正常に出来た事になります。

結果は、記録簿にも保存されます。

※ 気象補正の、気温、温度は必ず TS に入力し、設定しなければなりません。
TS が PPm 値を計算し、距離に補正します。
A-AdB 側は、APA ファイルに情報を保存するだけで、何ら計算しません。

今回の、この「情報取得」ボタンは、下記の TS 条件の時のみ表示されます。

- 「ソキア(２ウェイ、ノンプリ)」
- 「ソキア・トプコン(モーター機)」
- 「ライカ GeoCOM(モーター機)」

その他、対回観測の注意点です。

★ A-AdB では、「対回観測」にて、ターゲット(プリズム定数)の変更ができません。
よって、全点に同じプリズム定数のミラーを使用してください。
また、TS 側にターゲット(プリズム定数)を設定しておいてください。

「自動対回」　以外の場合で、TS 側で視準毎に設定される場合は OK です。

「半自動対回」　を皆さん、重宝されています。
旋回、反転は自動ですが視準は手動で出来ます。

★　自動対回観測、「サーチ」でエラーになった場合
「半対」ボタンを押すと、ボタンを無効にしています。
TS 側で旋回後に自動視準でエラーが出た場合、ボタンは押せない状態のままです。

[ON]ボタンを押して、[OFF]に一度変更し、再度[ON]にしてください。
または、マゼンタ色の「鉛直」ボタンを押して、続けて「鉛直」ボタンで戻します。

「測定」、「登録」ボタンが有効になります。
「測定」→「登録」ボタンを押すことで、その後は自動対回を再開します。

その他
器械高(IH)、目標高(FH)の高さを統一すると、間違いがなくなります。
据え付け時に、時間が掛かりますが。